

Message

かけがえのない三重の豊かな環境を守り、育て、
次世代に継承していくために、私たちは率先して行動します

知事
メッ
セー
ジ

地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題への対応が、持続可能な発展を続けるための国際的な課題となってきています。昨年度は、名古屋市で国連生物多様性条約第10回締約国会議が開催され、私たちに身近なところで環境問題への国際的な議論も行われてきています。

そうした中で、今年3月11日に発生した東日本大震災に直面し 私たちは改めて自然への畏敬の念を抱くとともに、自然と共生していくことの大切さや人と人、人と自然の絆の重要性を再認識しました。

また、同時に発生した原子力発電所の事故は、私たちにこれまでのエネルギー需給の仕組みや消費のあり方について、根本的な見直しを迫っています。

私たちは今、パラダイム転換を伴う時代の分水嶺に立たされています。分水嶺の先にある社会、新しい三重を創造するために、勇気と気概を持って進まなければなりません。



「みえ県民カビジョン」では、こうした時代への対応として、一人ひとりの個人をはじめ、NPO・企業・行政などのさまざまな主体が「公」を担う主体として自立し、行動することで、協働による成果を生み出し、新しいものを創造していく「協創」の三重づくりという理念を示したところ です。

この理念に基づきながら、かけがえのない三重の豊かな環境を守り、育て、次世代に継承していくために、人と自然の絆の再生や、環境への負荷の少ない持続可能な社会づくりを進めていきます。

県庁としても、平成11年度に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得して、環境負荷の低減や環境創造の推進に向けた活動を進めてきましたが、より積極的・効果的な展開が必要と考えています。

そこで、9月に策定した新しい環境方針では、職員一人ひとりが幅広い視野や将来に配慮する感性・創造力を大事にしながら、これまでの自分たちの仕事のスタイルを見直すとともに、あらゆる行政活動の遂行過程において、環境負荷の低減・環境創造の推進に率先して取り組むことをこれからの理念・方針として掲げたところ です。

本報告書は、これまでの県庁の取り組みについて、県民や事業者の皆様にお知らせすることを目的としてとりまとめたものです。

これからのよりよい活動につなげるため、皆様からの率直なご意見やご感想を心よりお待ちしております。

平成23年11月

三重県知事

鈴木英敬